

全労生 前副議長

野田 三七生



識を述べることで、お許しをいただけること、お許しを果たしたことは言

ずは、『全労生』に集う仲間が、発足（1959年）から60年余が経過する今日において

も生産性運動（三原則）に拘り、継承・実践されていくことに敬意を表したい。

今日までの粘り強い発信が、『2023春季生活闘争』における

「生成AI」というあり、世界的関心事と上の観点からも重要なテーマであることは論

「双方向」と「ブロー」をまたない。このような中で、米

「Web3」と言

「AI（人工知

ト氏（米オープンAI

社CEO）の発言「AI

いずれにしても、W

企業を認可する新しい

「e b3」という大きな

AIへの労組の対応注視

「生成AI」というあり、世界的関心事と上の観点からも重要なテーマであることは論

「双方向」と「ブロー」をまたない。このような中で、米

「Web3」と言

「AI（人工知

ト氏（米オープンAI

社CEO）の発言「AI

いずれにしても、W

企業を認可する新しい

「e b3」という大きな

「生成AI」というあり、世界的関心事と上の観点からも重要な

「双方向」と「ブロー」をまたない。このような中で、米

「Web3」と言

「AI（人工知

ト氏（米オープンAI社CEO）の発言「AI いずれにしても、Web3」という大きな